

## 助成対象事業成果報告書(概要版)

制度名	高齢者・障害者向け通信・放送サービス充実研究開発助成金
助成対象事業名	障害のある在宅勤務者の遠隔共同作業及びITスキル教育を支援するコミュニケーションシステムの研究開発
助成対象事業者名	株式会社沖ワークウェル

### [研究開発課題の全般について]

① 助成対象事業の概要	遠隔地においても同じ職場や教室を共有しているような、臨場感あるコミュニケーションを可能とするVoIPベースのコミュニケーションシステムを開発する。特に次のような点に留意する。 ・障害者の在宅勤務に適したユーザインタフェースにすること ・安価・簡便に導入できること
② 助成対象事業の目標	外出の困難な重度障害者が働いたり、学んだりする上でのコミュニケーションを支援し、次のことを可能にする。 ・重度障害者の教育機会や社会参加が多くなる。 ・重度障害者の在宅勤務が容易になり就業機会が増える。

### [平成20年度実施部分について]

③ 平成20年度助成金	6,240 千円
④ 研究開発の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通話音質向上と安定化</li> <li>・ユーザインタフェースの向上</li> <li>・なんでもスイッチやオペレートナビとの併用による上肢障害者向けのアクセシビリティ対応</li> <li>・在宅勤務の労務管理のための勤務管理表表示機能</li> <li>・ASPサービスによる運用形態の検討</li> <li>・社内在宅勤務での業務利用実験</li> <li>・社外団体による実証実験</li> </ul>

### [平成20年度実施部分における研究開発課題の成果や評価結果について]

⑤ 研究開発の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザインタフェース向上により、OKIワークウェルの在宅勤務においてコミュニケーション効率が向上した。勤務管理表表示機能により労務管理もしやすくなったので、本システムにより企業で障害者在宅雇用が導入しやすくなったと思われる。</li> <li>・特別支援学校において、通学できない重度障害児には訪問学級がおこなわれていたが、自宅から学校の授業に参加したり友達と話ができるようになった。</li> <li>・インターネット経由での通話でVPN接続を導入したことにより、導入前よりも通話が安定したと思われる。ただし、音声デバイスや回線速度が原因と思われる不安定な場合があるので、対処方法を継続して研究が必要。</li> </ul>
⑥ 研究成果の応用状況、利用状況	OKIワークウェル社内と沖電気関連部門の約40名が、実際の業務で利用中。 都立大泉特別支援学校の重度障害児が、自宅から学校の授業参加に活用中。